

The
Collection

日本の碗皿

Vol.3-4



FUKAGAWA SEIJI



釉下彩菊にりんどう 深皿
¥33,000(税込)

径15.2cm 高3.7cm/化粧箱入り

雲文牡丹金ミル 深皿
¥33,000(税込)

径15.2cm 高3.7cm/化粧箱入り

The Collection

Vol.1

染付唐草古代釉



碗皿



深皿

「染付唐草古代釉」
の動画はこちら



Vol.2

紅外濃み桜に苺紋様



碗皿



深皿

「紅外濃み桜に苺紋様」
の動画はこちら



Vol.3

雲文牡丹金ミル



碗皿



深皿

「雲文牡丹金ミル」
の動画はこちら



Vol.4

釉下彩菊にりんどう



碗皿



深皿

「釉下彩菊にりんどう」
の動画はこちら



深川製磁 オフィシャルサイト

<https://www.fukagawa-seiji.co.jp>

染錦は、東インド会社で世界に伝播した「古伊万里」と呼ばれた有田焼の「世界初の技法」です。初代深川忠次の染錦は、明治有田の革新的な意匠として1900年パリ万国博覧会で金賞を受賞するなど深川製磁の世界観を作った技法でもあります。この度の「The collection」では、明治期にずっと作られてきた伝統的な牡丹金ミル意匠を明治のノスタルジックな趣は壊さず、モダンデザインにリファインし挑戦いたしました。深川製磁の新しい染錦技法を堪能して頂きたいと思います。

雲文牡丹金ミル

(うんもんぼたんきんみる)



雲文牡丹金ミル 碗皿
¥132,000(税込)

口径8.7cm 高5.0cm 皿径13.7cm
化粧箱入り

釉下彩(ゆうかさい)は、還元させて装飾するアンダーグレイズ(下絵付け)の技法のひとつです。仕上がりが非常に不安定になる事でも知られています。釉下彩は、陶磁器愛好家を何故か虜にしてしまう不思議な魅力があります。その理由は、技法の偶然性に有るのではと考えています。素焼きに絵付を施す時、職人の筆の運びや窯の積み座でも色が変わってしまうので人がコントロール出来ないところがあります。その偶然性が、この技法の価値と考えています。深川の釉下彩は、明治期の貿易品として欧州の愛好家を虜にしてきた貴重な技法です。日本の陶磁器の技法としても今後も遺していきたいと考えています。

釉下彩菊にりんどう

(ゆうかさいきくにりんどう)



釉下彩菊にりんどう 碗皿
¥110,000(税込)

口径8.7cm 高5.0cm 皿径13.7cm
化粧箱入り

